

～ 中之島ミュージアムアイランド構想 ～

中之島4丁目市有地活用

【概要】
大阪の新しい都市魅力の創造に向け、中之島を文化芸術の重点地域として位置付け、エリアのブランド化を図る。「文化芸術」と「水と光」のシンボリックな融合に向け、公民一体となったマネジメント戦略を展開する。

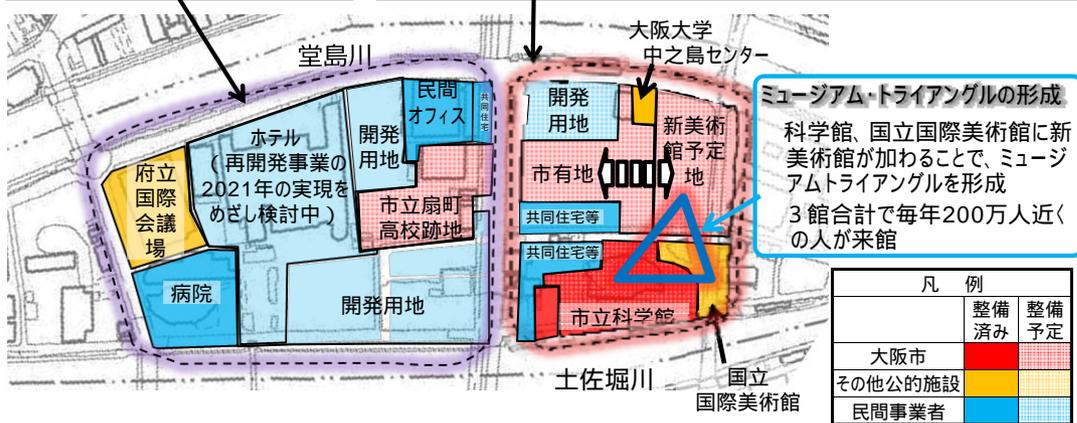
【取組状況】

- < 整備事業の推進 >
 - ・平成26年度
 - 〔新美術館〕
 - 『新美術館整備方針（案）』の公表（2020年度までの開館をめざすことを大阪市戦略会議で決定）
 - 『新美術館整備方針』[H26.9]の策定（H26.5～6にパブリックコメントを実施）
 - 〔隣接市有地〕
 - 隣接市有地（もと舞台芸術総合センター跡地等）の開発にかかるマーケットリサーチの実施（H26.9～H27.2）
 - ・平成27年度（予定を含む）
 - 〔新美術館〕
 - 要求水準書作成のための検討調査の実施
 - 〔隣接市有地〕
 - 大学等の設置を条件としたプロポーザル方式による売却の実施（H27年度中）

- < 所蔵作品による展覧会の開催 >
 - ・平成26年度
 - 『きらめく日本画コレクション』（大阪高島屋）
 - 『佐伯祐三とパリ - ポスターのある街角 -』（静岡県立美術館～宇都宮美術館～山梨県立美術館）
 - ・平成27年度（予定を含む）
 - 『海峡を渡る布 - 初公開 山本發次郎 染織コレクション ふたつのキセキ -』（H27.9～10 / 大阪歴史博物館）

【成果】
・『新美術館整備方針』を策定し、平成32年度までの開館をめざすことを決定した。

- 中之島4丁目
 - ・大阪の国際交流の拠点へ MICE機能の拡充、国際学校等の誘致など。
- 中之島4丁目
 - ・大阪の文化・芸術の中心的な拠点へ
 - ・新美術館と、市立科学館、国立国際美術館との連携により国内有数のミュージアムゾーンへ
 - ・隣接市有地で、美術館と連携・調和する、大学等の高等教育関連施設や業務・商業・文化施設等による複合施設を誘致。



新しい美術館の整備事業【整備方針の概要】

新美術館のコンセプト

佐伯祐三や吉原治良に代表される大阪が育んだ作家の作品を中心とした第一級のコレクションを活かし、国内トップクラスのミュージアムをめざす。
「大阪と世界の近現代美術」をテーマとしたミュージアムとして、市立美術館や東洋陶磁美術館にはない、新たな魅力を創造する。
歴史的にも文化的にも豊かな蓄積をもつ中之島を拠点として、文化の振興や都市の魅力向上に貢献する。
民間の知恵を最大限活用しながら、顧客目線を重視し利用者サービスに優れたミュージアムとする。

【参考】施設整備の概要（案）

項目		備考	
【施設整備費】	121億円	設計・監理費/工事費/備品購入費	
【延床面積】	15,000㎡		
内 訳	コレクション展示室	2,200㎡	日本近代/西洋近代/デザイン/現代/テーマ展示(うち500㎡は企画展示室としても利用)
	企画展示室	1,200㎡	大型の巡回展にも対応できる面積を確保(1,200㎡もしくは1,700㎡での利用可能)
	コミュニケーション	2,100㎡	パサージュ、講堂、ワークショップ室等のオープンエリア
	保存・研究	2,500㎡	収蔵庫、一時保管庫、調査研究室等
	管理・共用	7,000㎡	管理部分（事務室、機械室、倉庫等） 共用部分（展示ホール、廊下、階段等）

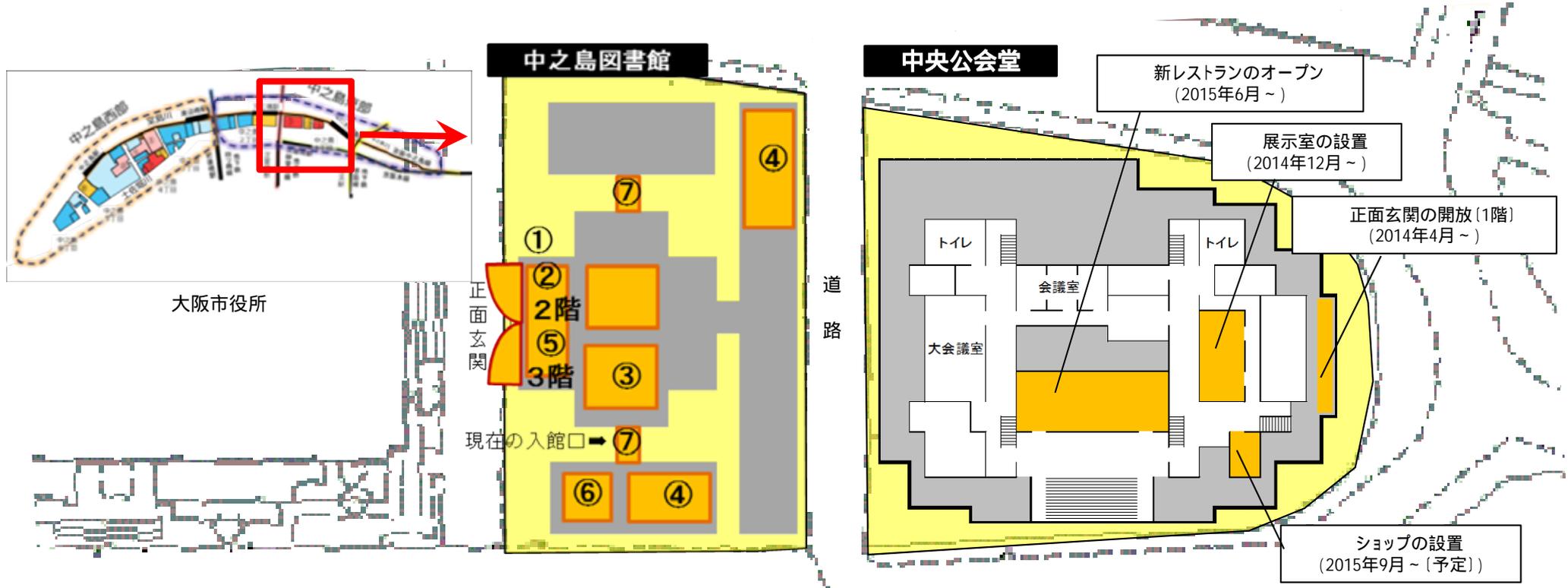
（駐車場及びサービス施設は含まず）
今後、新美術館の活動内容について具体的な検討を進めるとともに、別途検討を進めている市立美術館の改修計画や工事費の変動等も踏まえながら、施設整備の概要を決定します。

- 【課題】**
- ・新美術館の整備を進めていく上で必要となる具体的な建物仕様を取りまとめ
 - ・新美術館を核とした一体的なまちづくりを実現するため、中之島4丁目用地の有効活用
- 【今後の方向性】**
- ・要求水準書作成のための検討調査の実施
 - ・中之島4丁目用地において、大学等の設置を条件としたプロポーザル方式による売却を実施する。（平成27年度中を予定）
 - ・平成32年度の開館をめざし、新美術館の整備を着実に進める。
 - ・一体的なまちづくりの実現に向け、都市計画的手法の導入について検討を進める。

～ 中之島ミュージアムアイランド構想 ～

< 府立中之島図書館・大阪市中央公会堂の有効活用 >

府立中之島図書館、大阪市中央公会堂は国指定の重要文化財。「大阪の知と文化と歴史のシンボル」を共通コンセプトに、施設の連携事業を実施し、中之島エリアの集客及び活性化をめざす。



府立中之島図書館のリニューアル(2015年4月正面玄関開放・順次リニューアル)

	リニューアル前	リニューアル後
外観	施設全体が老朽化	外壁を洗浄し、白亜の殿堂と評される外観を復活
正面玄関	閉鎖 / 階段下入館口が分かりにくく、受付後、持ち物を預けるシステム	正面玄関を改装し、フリー入退館を実施
館内	交流等に使える施設がない	大展示室、多目的スペースの設置、記念室()の改修
	閲覧室のほかに館内でくつろげるスペースがない	カフェのオープン(2016年4月～〔予定〕)
	設備の老朽化	トイレを改修し、アメニティを向上
管理体制	府による直営	指定管理者による施設管理(2016年4月～〔予定〕)

市中央公会堂のリニューアル

	リニューアル前	リニューアル後
1階 正面玄関	大集会室利用時以外は、玄関が閉鎖	正面玄関の開放 (2014年4月～)
地下1階 館内	レストラン目的の来場者の確保など、レストランの活用が不十分	アイコン的存在となりうる新レストランのオープン (2015年6月～)
	近代建築の魅力を伝えるサービスが不十分	展示室の設置 (2014年12月～)、 ショップの設置 (2015年9月～〔予定〕)

～ 中之島ミュージアムアイランド構想 ～

～ 中之島図書館の有効活用 ～

【概要】

中之島ミュージアムアイランド構想の一つとして、中之島図書館を都市魅力施設として積極的に活用するとともに、中央公会堂とも連携した活用を図ることで両施設の魅力、中之島全体の魅力を高め、府内外に発信する。

【取組状況】

大阪府立中之島図書館のあり方検討タスクフォースを設置。外部有識者の意見を踏まえ検討を行い、中之島図書館の有効活用方策をとりまとめ。(H25年10月)
リニューアル工事の実施【正面玄関整備、外壁洗浄、トイレ改修】(H26年12月～H27年3月)
中央公会堂と連携した文化事業等の試行実施(H26年12月～H27年3月)
H27年度は指定管理者及びカフェ事業者を公募。また、リニューアル工事(大書架、記念室等の内部工事)や文化事業を継続する。

【これまでの成果】

正面玄関の開放によるフリー入退館の実現(H27年4月)



外壁洗浄等による建物の美化(H27年4月)

文化事業の合同実施など、隣接する中央公会堂との連携・協力の強化

文化事業の実施状況	開催日数	延べ19日間	参加者	延べ935人
イベント名	開催日時		参加者数	
・中之島レトロ・ノスタルジック・ツアー	H26.10.30,11.20		延べ46人	
・「じご(のそうべえ)絵本原画展	H26.12.8～20		延べ629人	
・らくごde中之島	H26.12.14		60人	
・ワンコインコンサート	H26.12.13,14		延べ161人	
・サロン・ド・中之島	H27.3.23		39人	



中央公会堂との連携実績

- ・大阪市中央公会堂展示室オープン記念 咲くやこの花コレクション&橋爪節也氏講演会(平成26年12月11日)・・・企画展示への協力
- ・中之島レトロ・ノスタルジック・ツアー・・・ガイドツアーの合同実施
- ・サロン・ド・中之島・・・両館をテーマにした講演会及びガイドツアーの合同実施

【課題】

- ・多くの人や情報が集まり交流する文化ステーションとして展開

【今後の方向性】

- ・H28年度導入予定の指定管理者やカフェ事業者と協働した中之島図書館の魅力向上・発信
- ・中央公会堂をはじめとした周辺施設、周辺イベントと連携した中之島エリアの魅力向上・発信

～ 大阪市中央公会堂の有効活用 ～

【概要】

近代建築物としての活用・・・正面玄関の開放、館内ガイドツアーの実施、中央公会堂の魅力を照会する展示機能の充実等
積極的な運営マネジメント・・・指定管理者の運営マネジメントが最大限発揮されるよう、全国的・国際的な大規模イベントや学術講演会が優先的に予約できるシステムへの変更、消費税増税を視野に入れた利用料金上限の改定の検討
自主的な企画実施・・・指定管理者による年間を通じた戦略的イベントの企画、中之島図書館との連携事業レストランの活用・・・集客力のあるレストランの入居により中之島の魅力向上を図る。

【取組状況】

- ・近代建築物としての活用策(正面玄関開放・館内ガイドツアー)を指定管理者公募の際の提案事項とするなど中央公会堂の活用検討
- ・正面玄関の開放(H26年4月～)、館内ガイドツアーの実施(H26年5月～)
- ・中之島図書館と合同ガイドツアー(H26年10月、11月)や合同講演会を実施(H26年12月)
- ・優先予約システムの変更(H26年11月)
- ・指定管理者の公募で、魅力向上イベント・学会の誘致、魅力向上事業(正面玄関開放・ガイドツアー・特別室の活用・ショップの設置・展示室の展示替え等)を提案事項とした(H26年10月)
- ・レストラン公募(H26年10月～12月)
- ・中央公会堂の歴史、大阪の近代建築、中之島図書館の所蔵品等を展示する展示室を開設(H26年12月)

【これまでの成果】

- ・貸館利用者のみならず一般の来館者にも自由に見学できるようにしたことにより、近代建築としての魅力を発信し、中之島エリアの魅力向上に寄与。
正面玄関の開放実績(H26.4月～H27.3月) 合計32,080人(月平均2,673人)
館内ガイドツアーの実績(H26.5月～H27.3月) 合計963人(月平均87.5人)

- ・新レストランの営業開始(H27.6月)



- ・大阪市中央公会堂が、トリップアドバイザーの口コミで旅行者から一貫して高い評価を得ている施設に与えられる「トリップアドバイザー『エクセレンス認証2015』」を受賞!



【課題】

- ・公会堂の設備の機能向上(音響、プロジェクト等)

【今後の方向性】

- ・指定管理者による公会堂の魅力向上事業の展開、魅力向上イベント・学会の誘致
- ・中之島図書館等の周辺施設、周辺イベントと連携した中之島エリアの魅力向上・発信